

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育ルームりんごの木こぐれ教室【放課後等デイサービス】			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 7日 ~			2025年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2025年 3月 3日 ~			2025年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 11日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門資格をもった職員を配置しているだけでなく、外部講師によるSST教室やアート活動、音楽療法、食育教室を取り入れている	保育士・公認心理師・社会福祉士など、児童・福祉分野での経験と資格をもった職員が支援にあたっているだけでなく、外部講師によるSST教室、アート活動、音楽療法、食育教室など専門性の高い療育や多様な経験ができるよう心がけています。 アプローチは様々ですが、子どもたちが「理解ある環境の中」で「安心して過ごせること」「自分を表現すること」を大切に活動をおこなっています。	・今後も専門性の高い支援を提供できるよう、職員研修やケース検討、ミーティングを実施していきます。 ・子どもたちそれぞれの状況や発達、年齢に合った関わりや支援をチームでおこなっていきます。
2	多機能型事業所であるため、就学前から継続して支援を行うことができる	同事業所内で児童発達支援事業もおこなっているため、就学前から継続して支援をおこなうことができます。	・事業所内の児童発達支援を利用していたかに問わらず、保護者の方や関係機関と連携を図りながら、お子さんが安心して通所でき、学校生活も円滑にいくよう努めています。
3	地域での活動を大切にしている	農地が多いという練馬区の特色を活かし、近隣の農園で定期的に収穫体験をさせていただいている。また、アート活動の展覧会を近隣の店舗(カフェ)や区の施設でおこないました。そのほかにも、地域のお店で買い物活動をおこなう、児童館に出かけるなど、子ども達が地域の一員として過ごすことを意識した活動を取り入れています。	・今後も地域の中の事業所であることを自覚し、子ども達の活動にも反映していきます。 ・法人として、外部講師の研修会に地域の保育園や幼稚園の職員を招待するなどをおこなってきましたが、今後も、地域の関係機関や住民の方とのどのように交流が図れるかを検討していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流機会が少ない	保護者の方に集まっていたいただく機会が、保護者会や研修会などに限られています。懇談時間を探して設けるなど内容の工夫を図っていますが、保護者会自体に参加が難しい場合、別の機会を提供することができません。	・保護者会を複数に分けて開催するなど、参加しやすい工夫をおこなっていきます。また、研修会だけでなく、保護者の方やごきょうだいにも参加していただけるような行事の開催も検討していきます。
2	活動時間、利用曜日が限定されてしまう状況である	多機能型事業所であるため、午前は児童発達支援事業を行っています。そのため、学校休業日であっても放課後等デイサービスは午後からの活動となっております。また、定員が満たされていることと、曜日によって活動内容に違いがあるため利用曜日が限定されてしまう状況もあります。	・学校の長期休暇中は普段とは違う特別な活動を取り入れるなど、お子さんの多様な活動の機会を損なわないよう工夫を図っていきます。 ・学校や他事業所でのお子さんの様子も共有させていただきながら、広い視点で支援をおこなっていけるよう努めています。